

## 使用方法と携帯方法

裏面に手助けしてほしいことを書き込むことができます。  
※個人情報を書く場合は、カードを使用するご本人やご家族などで内容を十分検討してください。

### わたしが手<sup>て</sup>伝<sup>づ</sup>ってほしいこと

- ・耳が聞こえづらいです。筆談で会話してください。
  - ・認知症があります。一人でいたり、道に迷っていたら、下記の電話番号に連絡をお願いします。
- 家族連絡先：〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

【カード裏面記入例】



財布に入れる、カバンにつける、首から下げるなどの使いやすい方法で携帯してください。

## どんなときに使うの？

障害のある方や難病の方、妊娠初期の方などが日常で手助けがほしいとき

### 緊急のとき

- ・道に迷ったとき
- ・パニックや発作、病気のとき

### 災害のとき

- ・避難をするとき
- ・避難生活が必要なとき

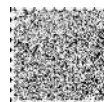


## ヘルプカードの配布窓口

県庁障害福祉課、県地域振興局、県支庁・事務所、ハートピアかごしま、市町村窓口

【ヘルプカードについての問合せ先】  
鹿児島県くらし保健福祉部障害福祉課  
TEL:099-286-2746  
FAX:099-286-5558

詳しくはこちら  
(県ホームページ)



## ヘルプカードとは？

外見から配慮や援助が必要なことが分かりにくい方が、周りに支援を求めるためのカードです。

カードに配慮してほしいことや手伝ってもらいたいことを記入しておき、いざというときに提示することで「支援が必要な人」と「支援ができる人」をつなげます。

このカードを見かけたら、思いやりのある行動をお願いします。

## 特集



## ヘルプカードの配布対象者

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、妊娠初期の方など、外見から援助等が必要なことが分かりにくい方で、日常生活や災害時などにおいて、配慮や支援を必要とする方

★障害の有無、障害者手帳の有無は問いません

ヘルプカードを持っている人が困っていたら…  
こんな手助けをお願いします！



★「どうしましたか?」「何かお困りですか?」と声をかけてください。  
(相手に伝わっているか確かめながら、ゆっくりと話してください)



★ヘルプカードの裏面に手助けしてほしいことが書かれています。  
あなたのできる範囲での手助けをお願いします。



必要な支援はひとりひとり違います

障害の特性などによって、必要な支援や配慮はさまざまです。  
また、通常とは異なる環境で不安定になっていることもあります。

ヘルプカードを知っていますか?  
あなたの支援が必要です

